

行政の窓

平成 22 年度 北海道の木材関連施策について

北海道では、森林から生産される木材を人と環境にやさしい資材として有効に利用することは、資源の循環利用につながるものであり、山村地域の活性化を図る上でも重要だと考えています。

そこで、木材関連施策として、産出される木材を有効活用し、道民生活に木材・木製品の利用が定着することを目指す「道産木材・木製品の利用の促進」、道産木材などの付加価値を向上や安定的な生産・流通体制づくりを進める「木材産業の競争力の強化」、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育の推進」を柱に様々な取組を進めています。

北海道森林づくり条例 第 13 条 木材産業等の健全な発展

平成 22 年度当初予算額（平成 21 年度当初予算額）※単位千円

道産木材・木製品の利用の促進



木質ペレット



公共施設での地域材利用

◎森林整備加速化・林業再生事業費

[調査・計画作成] 44,610 (0)

- ◆地域協議会の運営，調査・計画策定等に対し支援
- ◆道産木材の需要拡大の取組
- ◆森林バイオマス利用促進の取組

[川下対策] 2,879,787 (0)

- ◆木造公共施設の整備への支援
- ◆道産木材を利用した新製品の開発への支援
- ◆木質バイオマスの供給施設や利用施設の整備への支援
- ◆燃料用間伐材等の搬出運搬等への支援

◎木材需要促進対策事業費

○オホーツク森林産業振興協会事業費 7,205 (7,205)

「(社)オホーツク森林産業振興協会」において木材・木製品の販路拡大等の各種取組を実施

◎木質バイオマス大規模利用促進事業費 新規 3,340 (0)

全道協議会による安定供給づくりや大規模利用事業化への支援等

◎林業・木材産業構造改革事業費 445,236 (61,758)

木質バイオマス利用施設の整備など

◎環境保全対策推進費（グリーンニューディール基金事業） 4,900 (0)

道有施設ペレットストーブ転換事業

道が所有する公共施設において、灯油ストーブ等を木質ペレットストーブに転換し、温室効果ガスの低減を図り、地球温暖化対策を推進

◎木材業者と建築業者の連携促進 600 (1,000)

民間住宅等関連施策（国交省交付金を活用：建設部住宅局建築指導課計上事業）北の木の家等の道産木材を使った住宅の建築促進のため、木材業者と建築業者が連携して意見交換会や講習会等を実施し、両者のマッチングを図る取組に対する支援

多様な手法（予算事業以外の取組）

- ◇＜北の木の家＞優遇ローン制度構築への支援協力（赤チャレ）
- ◇道立施設の内装木質化等の推進
- ◇公共土木事業における間伐材等の利用推進
- ◇農家林家による地材地消普及促進事業（赤チャレ）
- ◇出前「地材地消」講座（赤チャレ：新規）

木材産業の競争力の強化

◎森林整備加速化・林業再生事業費（再掲）

[調査・計画作成]

- ◆道産木材の安定供給に向けた戦略づくりと地域面での実践への支援

[川下対策]

- ◆建築用等木材処理加工施設の整備への支援
- ◆安定供給協定に基づく建築用間伐材等の流通コストへの支援

北海道森林づくり条例

第14条 道民の理解の促進 第15条 青少年の学習の機会の確保

第16条 道民等の自発的な活動の促進

木育の推進

木育に対する理解の促進 等

平成 22 年度当初予算額（平成 21 年度当初予算額）※単位千円



木育達人（マイスター）入門

◎「木育」運動定着支援対策事業費

- まちじゅう木育プロジェクト推進事業費 2,301 (7,225)
木育遊具等の普及システム構築
- 木育マイスター育成事業費 9,157 (4,242)
木育マイスターの育成, 活動促進

多様な手法（予算事業以外の取組）

- ◇学校での木育推進事業（赤チャレ）

※赤チャレ：赤レンガ・チャレンジ事業（北海道のゼロ予算事業）

（水産林務部林務局 林業木材課林業木材グループ）